

中2

数学

きほん

名前 _____

式による説明

____ 月 ____ 日

れい

偶数 $2n$ 、奇数 $2n + 1$ 、3の倍数 $3n$ 、2けたの自然数 $10a + b$ … 整数を文字の式で表す。

$3n + 3 = 3(n + 1) \rightarrow n + 1$ は整数だから、 $3(n + 1)$ は3の倍数 … $3 \times (\text{整数})$ の形にする。

1 数を文字の式で表す

次の数を、文字を使った式で表しなさい。

- ☐ (1) n を整数とすると、奇数
- ☐ (2) 連続する3つの整数のうち、まん中の数が n のときの、もっとも小さい数
- ☐ (3) n を整数とすると、4でわると3余る数

2 説明を完成させる

次の説明の □ にあてはまる式やことばを答えなさい。

- ☐ (1) 連続する4つの整数の和は、偶数になる。このことを、次のように説明しました。

〔説明〕もっとも小さい整数を n とすると、連続する4つの整数は、 $n, n + 1, n + 2$,
ア □ と表される。

それらの和は、 $n + (n + 1) + (n + 2) + (\text{ア} \square) = \text{イ} \square = 2(2n + 3)$
 $2n + 3$ は整数だから、 $2(2n + 3)$ は ウ □ である。

- ☐ (2) 偶数の2乗は、4の倍数になる。このことを、次のように説明しました。

〔説明〕 n を整数とすると、偶数は ア □ と表される。

その2乗は、 $(\text{ア} \square)^2 = 4n^2 = 4 \times \text{イ} \square$

イ □ は整数だから、 $4 \times \text{イ} \square$ は ウ □ である。

できた □ / 5問

